

俳壇賞
Bt1全句
選38句

17行3段組14ホ
2025年9月14日
22:41(1)桐10

壇一番星も百番星も春の星に壇大いなる牛も鹿の子も足四本

壇 一寸の深さに種や野焼して
? - 15 壇 蜘蛛の子の早くも逃げの一手かな

壇 野焼して残りし種や土の中
壇 ホルマリン漬にもならず蟬の殻

壇 虚子の忌の大浴場の蛇口かな
壇 饅頭のごと夏みかん食ふ妊婦かな

増 囀りに人の疎かなニユータウン
増 庭の枇杷家族楽しむほどにかな

蝶死して花びらのごと吹かれをる
~~壇~~ 天網の習作からす瓜の花

壇 熊蜂の胴体が見え翅は見えず
壇 丈高きものこそ月に供ふへし

壇
 石の如く櫓の踏まゐる
 壇
 封筒の文の失せたる星祭

堀 堀の如く踏みおし落椿
堀 堀の言彼もなき一みおかな

城 草彦の町くはたはかき草の町

浮雲を利の重木たる雲の曲
 城
 又い上重の西月大

700

重慶市...

重
 果
 の
 に
 夏
 左
 左
 重
 ギ
 入
 奢
 と
 ギ
 入
 流
 ら
 ら
 客
 首

賈
 牙
 ノ
 心
 ア
 イ
 ス
 コ
 出
 会
 フ
 義
 主
 賈
 山
 民
 る
 そ
 の
 裏
 の
 島
 状

賁の下の雨音を聞く義也試
 賁 胸元の薔薇のまごころがセーラーかな

壇 胸元の薔薇のほころぶスエタかな

壇水鳥の踵を効かせ着水す

壇 来てみれば空家ばかりぞ枯木村

壇折つてみる琴になる木の枯枝かな

~~落椿石のこと 8月15日
知るぬ 間に 6:55 am
いつの間にか 7:15 am~~

~~70~~

2025.9.15【俳壇賞2025 Bt-2全59句】選19句

壇 一番星も百番星も春の星

壇 一寸の深さに種や野焼跡

壇 虚子の忌の大浴場の蛇口かな

壇 蝶死して花びらのごと吹かれをる

壇 落椿飛石のごと踏まれある

壇 うめと読んで梅の字あらず山桜桃

壇 夏空へ外骨格が飛び立てる

壇 裸子の前後おなかとせなかり

壇 訝しむアイスに出会ひたる蟻は

壇 知らぬ間に居坐つてゐる蟻地獄

壇 ホルマリン漬にもならず蟬の殻

壇 饅頭のごと夏みかん食ふ妊婦かな

壇 天網の習作からす瓜の花

壇 文高きものこそ月に供ふべし

壇 鰯らの誰彼もなきつみれかな

壇 朝顔の咲くほかはなき朝の雨

壇 胸元の薔薇のほころぶスエタかな

壇 水鳥の踵を効かせ着水す

壇 来てみれば空家ばかりぞ枯木村

9.16 2:11 am
屋敷左様や

梅の子のゆきしきみし
2025 9.16 2:22 am

2025 9.16 2:10 am

壇 一番星も百番星も雛の夜

壇 天網の習作からす瓜の花

壇 一寸の深さに種や野焼跡

壇 丈高きものこそ月に供ふべし

壇 虚子の忌の大浴場の蛇口かな

壇 爽やかに心機一転やり直す

壇 蝶死して花びらのごと吹かれをる

壇 鰯らの誰彼もなきつまれかな

壇 落椿飛石のごと踏まれある

壇 朝顔の咲くほかはなき朝の雨

壇 梅の字の消えてしまひし山桜桃

壇 胸元の薔薇のほころぶスエタかな

壇 夏空へ外骨格が飛び立てる

壇 水鳥の踵を効かせ着水す

壇 裸子の前後お中とせ中あり

壇 来てみれば空家ばかりぞ枯木村

壇 訝しむアイスに出会ひたる蟻は

壇 虚無なれや浅く凹みし蟻地獄

壇 ホルマリン漬にもならず蟬の殻

壇 饅頭のごと夏みかん食ふ妊婦

壇 一番星も百番星も雛の夜 9.16 14.16

壇 一寸の深さに種や野焼跡 14.16 14.16

壇 虚子の忌の大浴場の蛇口開く 21.16 14.15

壇 蝶死して花びらのごと吹かれをる 21.16 14.15

壇 落椿飛石のごと踏まれある 21.16 14.17

壇 梅の字の消えてしまひし山桜桃 壇 胸元の薔薇のほころぶスエタかな

壇 夏の空外骨格が飛び立てる 壇 水鳥の踵を効かせ着水す

壇 裸子の前後お中とせ中あり 9.16 14.15 9.16 12.40 壇 来てみれば空家ばかりぞ枯木村

壇 訝しむアイスクリーム前の蟻

壇 虚無なれや主の去りし蟻地獄

壇 ホルマリン漬にもされず蟬の殻

壇 饅頭のごと夏みかん食ふ妊婦

壇 一番星も百番星も雛の客

壇 爽やかに心機一転やり直す

壇 一寸の深さに種や野焼跡

壇 丈高き草こそ月に叶ひけり

壇 虚子の忌の大浴場の蛇口開く

壇 鰯らの誰彼もなきつまれかな

壇 梅の字の消えてしまひし山桜桃

壇 胸元の薔薇のほころぶスエタかな

壇 夏の空外骨格が飛び立てる

壇 水鳥の踵を効かせ着水す

壇 裸子の前後、お中と、せ中かな

壇 来てみれば空家ばかりぞ枯木村

壇 饅頭のごと夏みかん食ふ妊婦

壇 訝しむアイスクリーム前の蟻

壇 虚無なれや主の去りし蟻地獄

壇 ホルマリン漬にもならず蟬の殻

壇 天網の習作からす瓜の花

壇 朝顔の咲くほかはなき今朝の雨

暑し暑しと

2025
9.18
15:47

9.18 7:10 am

数 9.18 2:11 am

壇一寸の深さに種や野焼跡

壇天網の習作からす瓜の花

壇一番星も十番星も雛の客

壇爽やかに心機一転やり直す

壇虚子の忌の大浴場の蛇口数

壇丈高き草こそ月に叶ひけり

壇梅の字の消えてしまひし山桜桃

壇鰯らの誰彼もなきつまれかな

壇暑し暑しと外骨格が飛び立てる

壇折り曲げて膝の高さよすいつちよん

壇地下街の梅雨湿りして蕎麦屋の香

壇秋の草すなはち萩ぞ万葉の

壇裸子の前後、お中と、せ中かな

壇朝顔の咲くほかはなき今朝の雨

壇訝しむアイスクリーム前の蟻

壇胸元の薔薇のほころぶスエタかな

壇虚無なれや主の去りし蟻地獄

壇わが息に汚れしマスク哀れなり

壇夕焼に黒点ふゆる蚊喰鳥

壇水鳥の踵を効かせ着水す

壇ホルマリン漬にもならず蟬の殻

壇来てみれば空家ばかりぞ枯木村

壇饅頭のごと夏みかん食ふ妊婦

壇 一番星も十番星も雛の客

壇 夕焼に黒点ふゆる蚊喰鳥

壇 水鳥の踵を効かせ着水す

壇 一寸の深さに種や野焼跡

壇 天網の習作からす瓜の花

壇 来てみれば空家ばかりぞ枯木村

壇 虚子の忌の大浴場の蛇口数

壇 朝顔の咲くほかはなき今朝の雨

壇 青葱の青と白とのあはひかな

壇 梅の字の消えてしまひし山桜桃

壇 爽やかに心機一転やり直す

壇 赤い目をつむることなく雪うさぎ

壇 地下街の梅雨湿りして蕎麦屋の香

壇 鰯らの誰彼もなきつまれかな

壇 暑し暑しと外骨格が飛び立てる

壇 折り曲げて膝の高さよすいっちよん

壇 虫干のセピア色とは虫の色

壇 秋の草すなはち萩ぞ万葉の

壇 裸子の前後、お中と、せ中かな

壇 腸へ志へと新酒酌む

壇 饅頭のごと夏みかん食ふ妊婦

壇 丈高き草こそ月に叶ひけり

壇 訝しむアイスクリーム前の蟻

壇 播粉木と麺棒に日の短かけれ

壇 虚無なれや主の去りし蟻地獄

壇 胸元の薔薇のほころぶスエタかな

壇 ホルマリン漬にもならず蟬の殻

壇 わが息に汚れしマスク哀れなり

Plan A.B
以外E

2025.9.20【俳壇賞2025 B t-8 全11句】 選32句

12行3段組14ボ 2025年9月20日 19:46 へ1 桐10

壇 一番星も十番星も雛の客 壇 ホルマリン漬にもならず蟬の殻 壇 播粉木と麵棒に日の短かけれ

壇 一寸の深さに種や野焼跡 壇 夕焼に黒点ふゆる蚊喰鳥 壇 胸元の薔薇のほころぶスエタかな

壇 虚子の忌の大浴場の蛇口数 壇 虫くうて虫とる糸を生めり蜘蛛 壇 金縁の眼鏡銀盤のスクーター

壇 架替の古き巢箱の集められ 壇 天網の習作からす瓜の花 壇 わが息に汚れしマスク哀れなり

壇 梅の字の消えてしまひし山桜桃 壇 朝顔の咲くほかはなき今朝の雨 壇 水鳥の踵を効かせ着水す

壇 地下街の梅雨湿りして蕎麦屋の香 壇 爽やかに心機一転やり直す 壇 来てみれば空家ばかりぞ枯木村

壇 暑し暑しと外骨格が飛び立てる 壇 鰯らの誰彼もなきつまれかな 壇 青葱の青と白とのあはひかな

壇 虫干のセピア色とは虫の色 壇 折り曲げて膝の高さやすいつちよん 壇 赤い目をつむることなく雪うさぎ

壇 裸子の前後、お中と、せ中かな 壇 秋の草すなはち萩ぞ万葉の 壇 口のあふる仁に毛のなき毛虫あふる

壇 饅頭のごと夏みかん食ふ妊婦 壇 腸へ志へと新酒酌む 壇 2025.9.22 7:25 am

壇 訝しむアイスクリーム前の蟻 壇 丈高き草こそ月に叶ひけり

壇 虚無なれや主の去りし蟻地獄 壇 敗荷の自由闊達池広し

は未す?

の 9.20 20:58

吸うて 9.21 13:30

めかや 9.21 4am

2025.9.22 7:25 am

2025・6・22【俳壇賞2025 B t 9 全115句】 選30句

壇 一番星も十番星も雛の客

壇 胸元の薔薇のほころぶスエタかな

壇 一寸の深さに種や野焼跡

壇 わが息に汚れしマスク哀れなり

壇 虚子の忌の大浴場の蛇口数

壇 水鳥の踵を効かせ着水す

壇 架け替への古き巣箱の集められ

壇 来てみれば空家ばかりぞ枯木村

壇 梅の字の消えてしまひし山桜桃

壇 長葱の青と白とのあはひかな

壇 地下街の梅雨湿りして蕎麦屋の香

壇 赤い目をつむることなく雪うさぎ

壇 暑し暑しと外骨格の飛び立てる

壇 腸へ志へと新酒酌む

壇 虫干のセピア色とは虫の色

壇 爽やかに心機一転やり直す

壇 裸子の前後、お中と、せ中かな

壇 鰯らの誰彼もなきつまれかな

壇 饅頭のごと夏みかん食ふ妊婦

壇 丈高き草こそ月に叶ひけり

壇 訝しむアイスクリーム前の蟻

壇 敗荷の自由闊達池広し

壇 虚無なれや主の去りし蟻地獄

壇 播粉木と麵棒に日の短かけれ

2025.9.24【俳壇賞2025 B t-10 全12の句】選33句

壇 一番星も十番星も雛の宴 9.25 7:20 am

壇 一寸の深さに種や野焼跡 9.25 7:30 am

壇 虚子の忌の大浴場の蛇口数 9.25 7:30 am

壇 架け替へて古き巣箱を集めをる 9.25 7:30 am

壇 梅の字の消えてしまひし山桜桃 9.25 7:30 am

壇 地下街の梅雨湿りして蕎麦屋の香 9.25 7:30 am

壇 切り離す切手と切手梅雨晴間 9.25 7:30 am

壇 暑し暑しと外骨格の飛び立てる 9.25 7:30 am

壇 ぐつぐつと太陽煮ゆる早かな 9.25 7:30 am

壇 虫干のセピア色とは虫の色 9.25 7:30 am

壇 裸子の前後、お中ど、せ中かな 9.25 7:30 am

壇 饅頭のごと夏みかん食ふ妊婦 9.25 7:30 am

壇 訝しむアイスクリーム前の蟻 9.25 7:30 am

壇 虚無なれや主の去りし蟻地獄 9.25 7:30 am

壇 ホルマリン漬にもならず蟬の殻 9.25 7:30 am

壇 夕焼に黒点ふゆる蚊喰鳥 9.25 7:30 am

壇 虫すうて虫とる糸を生めり蜘蛛 9.25 7:30 am

壇 天網の習作からす瓜の花 9.25 7:30 am

壇 朝顔の咲くほかはなき今朝の雨 9.25 7:30 am

壇 折り曲げて膝の高さよすいっちよん 9.25 7:30 am

壇 腸へ志へと新酒酌む 9.25 7:30 am

壇 爽やかに心機一転やり直す 9.25 7:30 am

壇 鰯らの誰彼もなきつまれかな 9.25 7:30 am

壇 丈高き草こそ月に叶ひけり 9.25 7:30 am

12行3段組14ボ 2025年9月24日 12:37へ1 桐10

壇 敗荷の自由闊達池広し 9.25 7:30 am

壇 播粉木と麵棒に日の短かけれ 9.25 7:30 am

壇 胸元の薔薇のほころぶスエタかな 9.25 7:30 am

壇 わが息に汚れしマスク哀れなり 9.25 7:30 am

壇 水鳥の踵を効かせ着水す 9.25 7:30 am

壇 長葱の青と白とのあはひかな 9.25 7:30 am

壇 日記買ふ生活必需品も買ふ 9.25 7:30 am

壇 赤い目をつむることなく雪うさぎ 9.25 7:30 am

壇 来てみれば空家ばかりぞ枯木村 9.25 7:30 am

2025年9月24日 01:40 am

2025・9・26 【俳壇賞2025 B tier 11 全140句】 選30句

12行3段組14ボ 2025年9月26日 05:51へ1 桐10

(K)

壇 雛を見に一番星を先頭に

壇 訝しむアイスクリーム前の蟻

壇 敗荷を自由闊達とも思ふ

壇 一寸の深さに種や野焼跡

壇 虚無なれや主の去りし蟻地獄

壇 胸元の薔薇のほつれしスエタかな

壇 虚子の忌の大浴場の蛇口数

壇 ホルマリン漬にもならず蟬の殻

壇 水鳥の踵を効かせ着水す

壇 外されて古き巢箱や草の上

壇 夕焼に黒点ふゆる蚊喰鳥

壇 長葱の青と白とのあはひかな

壇 梅の字の消えてしまひし山桜桃

壇 虫すつて虫とる糸を吐けり蜘蛛

壇 日記買ひいつものボールペンも買ふ

壇 地下街の梅雨湿りして蕎麦屋の香

壇 天網の習作からす瓜の花

壇 赤い目をつむることなく雪うさぎ

壇 切り離す切手と切手梅雨晴間

壇 朝顔の咲くほかはなき今朝の雨

壇 暑し暑しと外骨格の飛び立つて

壇 折り曲げて膝の高さよすいつちよん

壇 ぐつぐつと太陽煮ゆる早かな

壇 腸へ志へと新酒酌む

壇 虫干のセピア色とは虫の色

壇 爽やかに心機一転やり直す

壇 裸子はお中、せ中に挟まれて

壇 鰯らの誰彼もなきつまれかな

壇 饅頭のごと夏みかん食ふ妊婦

壇 丈高き草こそ月に叶ひけり

は 9.26 8:20 am

9.26 7:10 am

屋折の 20 25 9 27 6:18 am

まのまうて 虎 おとなりし 2025 9 27 6:16 am

壇

2025.9.27【俳壇賞2025 B t-12 全153句】

選29句

12行3段組14ポ 2025年9月27日 08:00 へ1 桐10

壇 雛を見に一番星を先頭に

壇 訝しむアイスクリーム前の蟻

壇 敗荷を自由闊達とも思ふ

壇 一寸の深さに種や野焼跡

壇 廃墟たり主の去りし蟻地獄

壇 胸元の薔薇のほつれしスエタかな

壇 虚子の忌の大浴場の蛇口数

壇 ホルマリン漬にもならず蟬の殻

壇 水鳥の踵を効かせ着水す

壇 外されて古き巢箱は草の上

壇 夕焼に黒点ふゆる蚊喰鳥

壇 長葱の青と白とのあはひかな

壇 梅の字の消えてしまひし山桜桃

壇 虫すうて虫とる糸を溜めり蜘蛛

壇 赤い目をつむることなく雪うさぎ

壇 地下街の梅雨湿りして蕎麦屋の香

壇 天網の習作からす瓜の花

壇 切り離す切手と切手梅雨晴間

壇 朝顔の咲くほかはなき今朝の雨

壇 虫干のセピア色とは虫の色

壇 腸へ志へと新酒酌む

壇 暑し暑しと外骨格の飛び立てり

壇 爽やかに心機一転やり直す

壇 ぐつぐつと太陽煮ゆる早かな

壇 鰯らの誰彼もなきつまれかな

壇 裸子はお中、せ中に挟まれて

壇 屈折の膝の高さよすいつちよん

壇 饅頭のごと夏みかん食ふ妊婦

壇 丈高き草こそ月に叶ひけり

↑ っま口キ

(上7)

大浴場にちまひの口
壇子35分 7:20 am
2025.9.28
18:47 am

(15)

2025.9.28
1:55 am

紅日と夕べの光
33 am

うろたえてるわい

12/14 8:30 am

11:27 am

壇 雛を見に一番星を先頭に

壇 虫すうて虫とる糸を溜めり蜘蛛

壇 水鳥の踵を効かせ着水す

壇 一寸の深さに種や野焼跡

壇 夕焼に黒点ふゆる蚊喰鳥

壇 長葱の青と白とのあはひかな

壇 大浴場にあまたの蛇口虚子忌なり

壇 天網の習作からす瓜の花

壇 赤い目をつむることなく雪うさぎ

壇 外されて古き巢箱は草の上

壇 朝顔の咲くほかはなき今朝の雨

壇 梅の字の消えてしまひし山桜桃

壇 腸へ志へと新酒酌む

壇 暑し暑しと外骨格の飛び立てり

壇 爽やかに心機一転やり直す

壇 ぐつぐつと太陽煮ゆる早かな

壇 鰯らの誰彼もなきつみれかな

壇 裸子はお中、せ中に挟まれて

壇 屈折の膝の高きよすいっちよん

壇 饅頭のごと夏みかん食ふ妊婦

壇 蟋蟀の潰れて黒き地べたかな

壇 訝しむアイスクリーム前の蟻

壇 丈高き草こそ月に叶ひけり

壇 廃墟たり打ち捨てられし蟻地獄

壇 敗荷を自由闊達とも思ふ

壇 ホルマリン漬にもならず蟬の殻

壇 胸元の薔薇のほつれしスエタかな

14

28 13 59

28 15 40

2, 2, 2, 2

倒置

2025.9.28 【俳壇賞2025 B tier 14 全170句】

選30句

12行3段組14ポ 2025年9月28日 16:58 へ1 桐10

壇 雛を見に一番星を先頭に

壇 虫すうて虫とる糸を溜めり蜘蛛

壇 敗荷を自由闊達とも思ふ

壇 一寸の深さに種や野焼跡

壇 夕焼に黒点ふゆる蚊喰鳥

壇 胸元の薔薇のほつれしスエタかな

壇 大浴場にあまたの蛇口虚子忌なり

壇 天網の習作からす瓜の花

壇 水鳥の踵を効かせ着水す

壇 外されて古き巢箱は草の上

壇 朝顔の咲くほかはなき今朝の雨

壇 長葱の青と白とのあはひかな

壇 梅の字の消えてしまひし山桜桃

壇 腸へ志へと新酒酌む

壇 草枯れてブロック塀は存へて

壇 暑し暑しと外骨格の飛び立てり

壇 爽やかに心機一転やり直す

壇 赤い目をつむることなく雪うさぎ

壇 ぐつぐつと太陽煮ゆる早かな

壇 鰯らの誰彼もなきつまれかな

壇 髪はありメリアで床屋の年寄り

壇 裸子はお中、せ中に挟まれて

壇 屈折の膝の高さよすいつちよん

壇 膝曲げて背ナより高しすいつちよん

壇 饅頭のごと夏みかん食ふ妊婦

壇 蟋蟀の潰れて黒き地べたかな

壇 丈高き草こそ月に叶ひけり

壇 訝しむアイスクリーム前の蟻

壇 蟻地獄とは打ち捨てられし蟻地獄

壇 我こそは芒の味方月の使者

壇 蝸牛の殻

壇 蝸牛の殻

壇 蝸牛の殻

壇 蝸牛の殻

壇 蝸牛の殻

壇 蝸牛の殻

5:25 1m 4) 火葬地獄 打ち捨てられし 2025 9.29 5:15 am

9.29 1:30 am

2025 地下一寸の 9.29 2a m 種をく

9.29 5:6 am

髪はありメリアで床屋の年寄り 5:13 5:35 am

2025 9.29 5:11 am

しにちのばち 5:30 am

ヒザの曲や 2025 9.29 5:11 am

9.29 5:14 am

2025・9・29【俳壇賞2025 B to 15 全185句】選30句

12行3段組14ポ 2025年9月29日 08:45 へ1 桐10

壇 雛を見に一番星を先頭に

壇 虫すうて虫とる糸を溜むる蜘蛛

壇 胸元の薔薇のほつれしスエタかな

壇 野焼後の地下一寸の種ぬくし

壇 夕焼に黒点ふゆる蚊喰鳥

壇 水鳥の踵を効かせ着水す

壇 大浴場にあまたの蛇口虚子忌なり

壇 天網の習作からす瓜の花

壇 長葱の青と白とのあはひかな

壇 外されて古き巢箱は草の上

壇 朝顔の咲くほかはなき今朝の雨

壇 草枯れてブロック塀は垂直に

壇 梅の字の消えてしまひし山桜桃

壇 腸へ志へと新酒酌む

壇 髪ばかり切つて床屋の年詰る

壇 暑し暑しと外骨格の飛び立てり

壇 爽やかに心機一転やり直す

壇 赤い目をつむることなく雪うさぎ

壇 ぐつぐつと太陽煮ゆる早かな

壇 鰯らの誰彼もなきつまれかな

壇 裸子はお中、せ中に挟まれて

壇 膝高く曲げし力やすいつちよん

壇 饅頭のごと夏みかん食ふ妊婦

壇 蟋蟀の潰れて黒き地べたかな

壇 訝しむアイスクリーム前の蟻

壇 丈高き草こそ月に叶ひけり

壇 蟻地獄打ち捨てられて塵埃

壇 我こそは芒の味方月の使者

壇 ホルマリン漬にもならず蟬の殻

壇 敗荷を自由闊達とも思ふ

オオの子の狂歌に似る
マアビカ
9.29 15:15

助詞板

助詞板

42
ーヤウはヒザツク曲
すいっせん
15:17

12 行 3 段組 14 才
20 25 年 9 月 29 日
17 08 11
桐 10

壇 胸元の薔薇のほつれしスエタかな

水鳥は踵を効かせ着水す

壇 長葱の青と白とのあはひかな

壇草枯れてブロック塀は垂直に

壇 髪ばかり切つて床屋の年詰る

壇 赤い目をつむることなく雪うさぎ

拾五今十巨拾付拾拾てうれ

第 1 次

8. 11. 12.

振
下
下
支
乙

桐
10

7.29
18:27

12行3段組14示
2025年9月29日
2010¹桐10

壇 胸元の薔薇のほつれしスエタかな

壇 水鳥は踵を効かせ着水す

壇 長葱の青と白とのあはひかな

壇草枯れてブロック塀は不動なり

壇 髪ばかり切つて床屋の年詰る

壇 赤い目をつむることなく雪うさぎ

2020.2.2

無知者了廿二之規器已全全至

/

壇 赤い目をつむることなく雪うさぎ

壇 髪ばかり切つて床屋の年詰る

壇 草枯れてブロック塀は不動なり

壇 長葱の青と白とのあはひかな

のわきみ

2029 8:30 1:15 am

1:17 am

9:29 22:35

壇 雛を見に一番星を先頭に 壇 虫すうて虫とる糸を溜むる蜘蛛

壇 胸元の薔薇のほつれしスエタかな

壇 野焼後の地下一寸の種ぬくし 壇 夕焼に黒点ふゆる蚊喰鳥

壇 水鳥は踵を効かせ着水す

壇 大浴場にあまたの蛇口虚子忌なり 壇 天網の習作からす瓜の花

壇 長葱の青と白とのあはひかな

壇 外されて古き巢箱は草の上 壇 朝顔の咲くほかはなき今朝の雨

壇 草枯れてブロック塀のねずみ色

壇 梅の字の消えてしまひし山桜桃 壇 腸へ志へと新酒酌む

壇 髪刈つてばかり床屋の年詰る

壇 ぐつぐつと太陽煮ゆる早かな 壇 爽やかに心機一転やり直す

壇 赤い目をつむることなく雪うさぎ

壇 裸子はお中、せ中を前うしろ 壇 鰯らの誰彼もなきつまれかな

壇 饅頭のごと夏みかん食ふ妊婦 壇 高飛びの膝高く曲げすいつちよん

壇 訝しむアイスクリーム前の蟻 壇 蟋蟀の潰れて黒き地べたかな

壇 蟻地獄うち捨てられて塵埃 壇 丈高き草こそ月に叶ひけり

壇 秋冬と春にもあれど夏の蠅 壇 我こそは芒の味方月の使者

壇 ホルマリン漬にもならず蟬の殻 壇 敗荷を自由闊達とも思ふ

新味はあれどまたさあ
TopとEnは明るいが
金作はたの

壇 雛を見に一番星を先頭に 壇 虫すうて虫とる糸を溜むる蜘蛛

壇 胸元の薔薇のほつれしスエタかな

壇 野焼後の地下一寸の種ぬくし 壇 夕焼に黒点ふゆる蚊喰鳥

壇 水鳥は踵を効かせ着水す

壇 大浴場にあまたの蛇口虚子忌なり 壇 天網の習作からす瓜の花

壇 長葱の青と白とのあはひかな

壇 外されて古き巢箱は草の上 壇 朝顔の咲くほかはなき今朝の雨

壇 草枯れてブロック塀のねずみ色

壇 梅の字の消えてしまひし山桜桃 壇 腸へ志へと新酒酌む

壇 髪刈つてばかりの床屋年詰る

壇 ぐつぐつと太陽煮ゆる早かな 壇 爽やかに心機一転やり直す

壇 赤い目をつむることなく雪うさぎ

壇 裸子はお中、せ中を前うしろ 壇 鰯らの誰彼もなきつまれかな

壇 饅頭のごと夏みかん食ふ妊婦 壇 高飛びの膝高く曲げすいつちよん

壇 訝しむアイスクリーム前の蟻 壇 蟋蟀の潰れて黒き地べたかな

壇 用済みの蟻地獄には塵埃 壇 丈高き草こそ月に叶ひけり

壇 秋冬と春にもあれど夏の蠅 壇 我こそは芒の味方月の使者

壇 ホルマリン漬にもならず蟬の殻 壇 敗荷を自由闊達とも思ふ